



会長賞

赤尾木の縁側（龍郷町）

設計／小野良輔建築設計事務所 施工／有限会社 政建設 棟梁／山田 一幸



特別賞

T 邸（指宿市）

設計／ヤマサハウス 株式会社 施工／ヤマサハウス 株式会社 棟梁／山下 実利



入 選

家族がいつでもどこでも「学べる家」(鹿児島市)

設計／株式会社 建築工房 匠 施工／株式会社 建築工房 匠 棟梁／松山 裕太郎



入 選

自然を感じ家族とつながる家 (鹿屋市)

設計／株式会社 新留建築設計事務所 施工／株式会社 黒松製材建設 棟梁／新久保 誠



入 選

金峰の家 (南さつま市)

設計／株式会社 島中設計 施工／赤瀬川建設 株式会社 棟梁／鳥越 智仁



入 選

木の温もりを感じる平屋 (鹿児島市)

設計／有限会社 イヤダニ工務店設計事務所 施工／有限会社 イヤダニ工務店 棟梁／栗須 貴浩

鹿児島県木造住宅推進協議会

事務局／鹿児島市新屋敷町 16 番 228 号
(公財) 鹿児島県住宅・建築総合センター内 TEL.099-224-4543



HP でも作品を
ご覧いただけます

かごしま木造住宅コンテスト 2025 作品集



会長賞 赤尾木の縁側（龍郷町）

目次

| | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 02 事例集の発行にあたって | 11 入選 家族がいつでもどこでも「学べる家」(鹿児島市) |
| 03 審査好評 | 13 入選 自然を感じ家族とつながる家(鹿屋市) |
| 05 会長賞 赤尾木の縁側(大島郡龍郷町) | 15 入選 金峰の家(南さつま市) |
| 09 特別賞 T邸(指宿市) | 17 入選 木の温もりを感じる平屋(鹿児島市) |

募集要項

【審査委員会】

| | |
|------|--------------------------------------|
| 委員長 | 古川 恵子 (鹿児島女子短期大学名誉教授) |
| 副委員長 | 鷹野 敦 (鹿児島大学大学院理工学研究科工学専攻建築学プログラム准教授) |
| 委員 | 八反田 淳一(一般社団法人 鹿児島県建築士事務所協会会長) |
| 委員 | 小林 孝幸 (一般社団法人 鹿児島県林材協会連合会専務理事) |
| 委員 | 中豊留 友美(公益社団法人 鹿児島県建築士会女性部会幹事) |
| 委員 | 上村 康孝 (鹿児島県土木部建築技監) |
| 委員 | 西園 幸弘 (鹿児島県木造住宅推進協議会会長) |

【募集対象(全てに該当すること)】

1. 鹿児島県内にある住宅で、県内の住宅事業者が施工した軸組工法による木造住(混構造、併用住宅も可。)
2. 木材の使用量が、次の①または②のいずれかを満たす住宅
 - ①かごしま木の家((ア)及び(イ)の両方を満たす住宅)
(ア)かごしま材の使用量が10m以上
(イ)かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上
 - ②認証かごしま材の家((ア)～(工)のいずれか1つ以上を満たす住宅)
(ア)柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上(イ)柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023m/miを乗じて得た数値以上(ウ)造作材、下地材及びフローリングの合計面積が16m以上
(工)上記(ア)(イ)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(ウ)における同材の実使用比の数値の合計が1以上
3. 過去5年間(令和3年9月～令和7年4月)に完成・引き渡しされた新築住宅
4. 過去の「かごしま木造住宅コンテスト」に未応募のもの

【募集資格】

施主・設計者・施工者・大工(棟梁)の4者連名で応募(連絡窓口の方を1名選定)

【募集方法】

以下の書類をそろえて募集先へ持参もしくは郵送

1. 応募用紙(建物概要等を記入)
2. 施主の要望と反映の方法、コンセプト
3. 設計・施工のポイント、住宅のアピール等
4. 図面:配置図、平面図(兼ねても可)
5. 写真(外観4枚以下・内観8枚以下)
6. その他(アピールに必要な図面等)

【募集締切】

令和7年7月22日

【主催】鹿児島県木造住宅推進協議会 【後援】鹿児島県

「かごしま木造住宅コンテスト2025」事例集の発行にあたって

「かごしま木造住宅コンテスト」は、鹿児島県の自然や歴史、風土、文化に根ざした木造住宅の普及を図るとともに、県民の皆さまに木造住宅の魅力を広く知っていただくことを目的として、平成13年(2001年)から隔年で実施しており、今回で第13回となりました。

かごしま材を作って建てられた住宅は、森林環境の保全や地球温暖化防止、地域産業の振興など、多方面にわたる波及効果を有しており、持続可能な社会の実現に向けた重要な取組の一つです。

当協議会では、地域で生産された木材を地域で活用する「地材地建」の住まいづくりを推進しており、本コンテストにおいても「かごしま材または認証かごしま材を一定量以上使用していること」を応募要件とし、優れた木造住宅の掘り起こしを行っています。

この事例集に掲載されている作品は、鹿児島県で育った木の特性を活かし、採光や通風、省エネルギー性、耐久性への配慮に加え、家族構成やライフスタイル、高齢者への配慮、さらには周辺環境や街並みとの調和など、多様な視点から丁寧に計画された住宅となっています。施主や設計者、施工者など家づくりに関わる多くの方々が対話と工夫を重ね完成させた住まいであり、それぞれに木造住宅の可能性と魅力が表れています。

ご応募いただいた皆さまの熱意とご努力に心より敬意を表しますとともに、厳正な審査にご尽力いただきました審査委員長をはじめ、審査委員の皆さまに厚く御礼申し上げます。

当協議会では、今後も、人にも環境にもやさしい快適な木の住まいづくりの普及に取り組んでまいります。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和8年3月
鹿児島県木造住宅推進協議会
会長 西園 幸弘

鹿児島県木造住宅推進協議会とは

鹿児島県の木造住宅の振興を促進するため、関係行政機関などが結集して、従来の個人的な活動の範囲を超えて木造住宅の振興の諸活動を広範かつ長期的に実施していくことを目的として設立された協議会です。

協議会では、大工・工務店などの経営の近代化及び技術の向上、住宅建築の担い手の育成と定着・地位向上、在来木造住宅に対する県民の意識の向上などを通じて木材を中心とする地域住宅関連産業の活性化や地域に適した良質な木造住宅の建設推進等の活動をおこなっています。

鹿児島県木造住宅推進協議会会員

(公社)鹿児島県建築士会 (一社)鹿児島県建築教会 (一社)鹿児島県建築士事務所教会
鹿児島県建築工友会 (一社)鹿児島県林材教会連合会 鹿児島県木材協同組合連合会
鹿児島県森林組合連合会 鹿児島県プレカット協議会 かごしま地材地建グループ連絡協議会
(一社)全国木造建設事業教会鹿児島県教会 鹿児島県町村会 鹿児島県
(公財)鹿児島県住宅・建築総合センター (令和8年3月現在)

審査講評

「かごしま木造住宅コンテスト」は、鹿児島島の自然や歴史、風土、文化に根ざした木造住宅の普及を目的に、平成13年(2001年)から隔年で催され、今回は第13回となります。

木造住宅の良さを多くの方に知っていただくことを目的としたコンテストで、①かごしま材の良さが実感できる家、②省エネや長寿命化などの工夫を凝らした家、③高齢者等が安心して暮らせる家、④街並みなどの景観に配慮した家、であるか等を審査の観点としています。

今回は13点の応募がありました。一次審査で7点を選び、二次審査はWEBで行い、「会長賞」・「特別賞」・「入選」を選定しました。今回「知事賞」の該当者はありませんでした。

受賞された方々にお祝い申し上げます。

会長賞



会長賞の『赤尾木の縁側』(大島郡龍郷町)は、施主が縁側と称する広い軒下の空間があり、採光・通風に配慮した平屋の三世代の住宅です。シンプルな平面計画で、窓外の畑の風景を取り込む開口計画となっています。母親と子世帯のお互いを思いやる生活に応じて、離れのような母親の居室とLDKが軒下空間を介してもつながります。軒下の縁側からLDKへの回り縁により、庭とのつながりも濃くなり動線も多様化しています。大壁なので木を使っている感じが少ないとの意見もありましたが、全体的によくまとめられた間取りで、またバランスよく木が使われている住宅です。

特別賞



特別賞の『T邸』(指宿市)は、地域の人へのおもてなしという施主のこだわりがかなっている住宅です。土間から続く和室・リビングへと接客の場が広がります。また、玄関内部正面の格子や、棧にこだわった障子に木の使い方へのこだわりが表れていると評価されました。一方、外壁や木の使い方、二階と一階の外壁の景観上のバランスに配慮が欲しかったという意見がありました。

入選

入賞一作品目の『家族がいつでもどこでも「学べる家」』(鹿児島市)は、認証かごしま材の家の募集要件4項目全部を備えています。実際、手の込んだ木の使い方がされていて、素材感がよく木を感じられる、また、外観も街並みに配慮され、玄関周りのつくり方もよい等の評価がありました。

入選

入賞二作品目の『自然を感じ家族とつながる家』(鹿屋市)は、完成度の高いよくまとまっている住宅という評価です。採光と通風への配慮、キッチンからの視線やウッドデッキによる回遊性、ヒメシヤラをシンボルツリーにして自然を楽しむ等、きめ細かい配慮がされた住まいです。

入選

入賞三作品目の『金峰の家』(南さつま市)は、使用木材の100%がかごしま材等の住宅で、地元産の杉を活用した住宅です。リビングの木の腰壁、300mm角の大黒柱や太鼓梁など、大工である施主のこだわりから木が多く使われています。

入選

入賞四作品目の『木の温もりを感じる平屋』(鹿児島市)は、オーソドックスでまとまりのあるプランの住宅です。既存建物とつなぐ渡り廊下は木の存在感があり、奥行きのある濡れ縁は深い軒で強い日差しや雨からLDKを守っています。こじんまりして、住みやすそうです。

最後に、ご応募いただきました方々の木造住宅への取り組みに敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。今後とも、かごしまの木造住宅の発展にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

かごしま木造住宅コンテスト2025 審査委員会
委員長 古川 恵子(鹿児島女子短期大学名誉教授)



会話が自然に生まれるキッチン。ダイニング一体のカウンターが、料理から食事までを滑らかにつなぎ、ご家族が集う場を作ります

撮影 / 石井紀久

奄美の原風景を、今の暮らしへ 個を尊重しつつも、ひとつにつながる三世代住宅

大島郡龍郷町

設計 / 小野良輔建築設計事務所

施工 / 有限会社 政建設

棟梁 / 山田 一幸

三世代が心地よい距離感で暮らすW邸は、奄美の民家を今の風土に寄り添うかたちで再構築した平屋住宅。広い軒下を「縁側」とし、内と外を緩やかにつなぐことで、家族の気配が自然に行き交います。採光・通風を整えたシンプルな平面に、窓外の畑の風景を切り取る開口を設置。お母様の居室は離れのように配置しつつ、軒下空間とLDKを緩やかにつなぎ、優しさが息づく住まいです。



大きな窓から牧歌的な風景を取り込み、天井まで木に包まれた空間。自然の中に身を置くような心地よさが広がっています



ハイサイドライトから穏やかな光が降り注ぐリビング。自然と視線や会話が交わり、ご家族の存在を身近に感じられる、開放感のある空間です



周囲は農地に囲まれるのどかな風景に溶け込む住まい。勾配が連なる屋根と深い軒下が特徴で、奄美の民家の知恵を現代の住宅に映し出しています



小野良輔建築設計事務所
設計 / 小野 良輔

気候や文化の特性を理解し、現地の施工業者と密に対話を重ね、人と土地に寄り添う設計を心がけています。本計画では祖父の代からの農地に建つ三世代住宅として、母と子世帯それぞれの想いを丁寧にくみ取り、軒下や縁側を介して緩やかにつながる住まいを構想しました。勾配の異なる切妻屋根が一体感と採光を生み出しています。



リビングにも玄関にもなり、それぞれの部屋と繋がり、ご家族が自由に過ごす軒下空間。内と外を緩やかにつなぎ、暮らしの中心となっています



夕暮れ時…明かりに照らされた木のデッキで語らうご家族。何気ない日常のひとつが美しく映える住まいです



離れのように配しつつ、リビングから近からず遠からずの距離感を大切にした母の居室。動線を分散させ、日々の暮らしに無理のない快適さを生み出しています



勾配の異なる屋根を組み合わせせた外観が印象的。屋根の形がつくる深い軒の下で、庭と寄り添う暮らしを楽しめます

募集条件への適合状況

がこしま木の家の基準

「がこしま材の使用量が10m以上」かつ「がこしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」



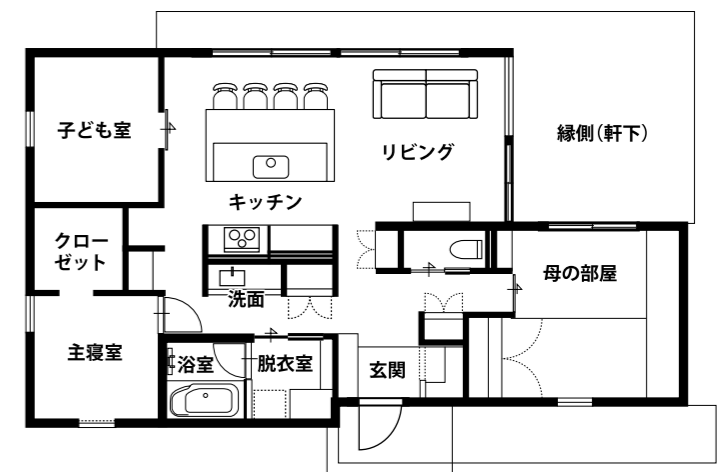
認証がこしま材の家の基準

(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上

(2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023m/mを乗じて得た数値以上

(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計積が16m以上

(4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証がこしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1



●家族構成 / 母1人 夫婦2人 子ども1人 規模 / 平屋
●敷地面積 / 382.33㎡ 建築面積 / 108.08㎡ 延床面積 / 89.02㎡ 築 2024年5月



落ち着いた色調の外壁に縦格子が映える和モダンの住まい。自然と調和する端正な佇まいが、時を重ねても心地よい暮らしを静かに支えます

人を迎える佇まいに、住まいの品格を自然と調和し、静かに時を刻む木の家

指宿市

設計／ヤマサハウス 株式会社
 施工／ヤマサハウス 株式会社
 棟梁／山下 実利

地域とのつながりを大切にする施主の想いを受け継ぎ、「人をやさしく迎え入れる」佇まいを形にしたK邸。杉の式台と腰掛けを備えた玄関は、日々の所作に寄り添い、心和む空間に。南に開いたLDKは勾配天井と大開口により光と風を導き、構造材の大黒柱と梁はインテリアとしても静かな存在感を放ちます。随所で木の美しさに包まれた、自然と調和する心地よさを感じられる住まいです。



ヤマサハウス 株式会社
 設計／下古立 碧衣

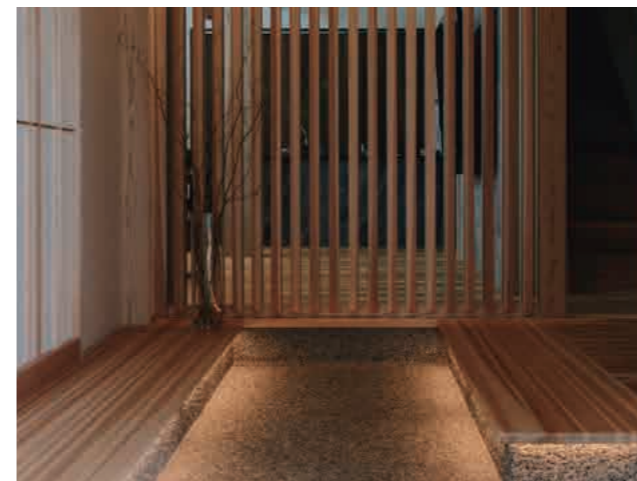
玄関ベンチと深い軒が穏やかな余白を描き、空間同士がやわらかく連なって暮らしに奥行きを与えます。木の温もりと素材感を重ね合わせ、日々を上質に彩る住まいへと仕上げました。



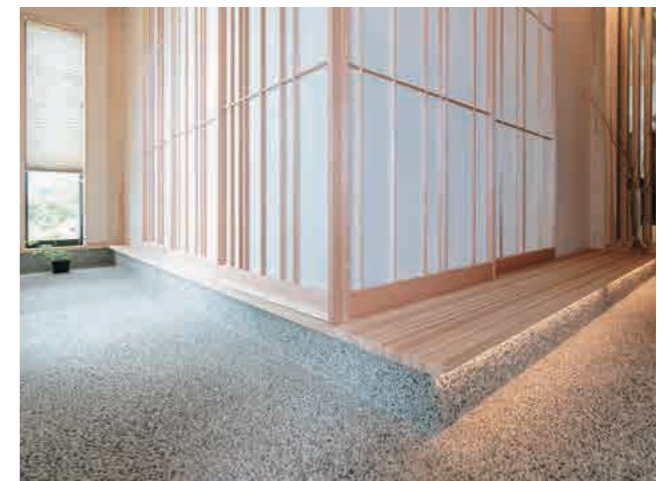
吹抜勾配天井と大開口から光が差し込み、室内に配した緑がやさしく映えるLDK。無垢材と現しの梁が、落ち着きと開放感、双方を生み出します



大工の手による杉の吊押入れが映える客間の和室。畳のやわらかな質感と相まって、温もりある、おもてなしの空間をつくります

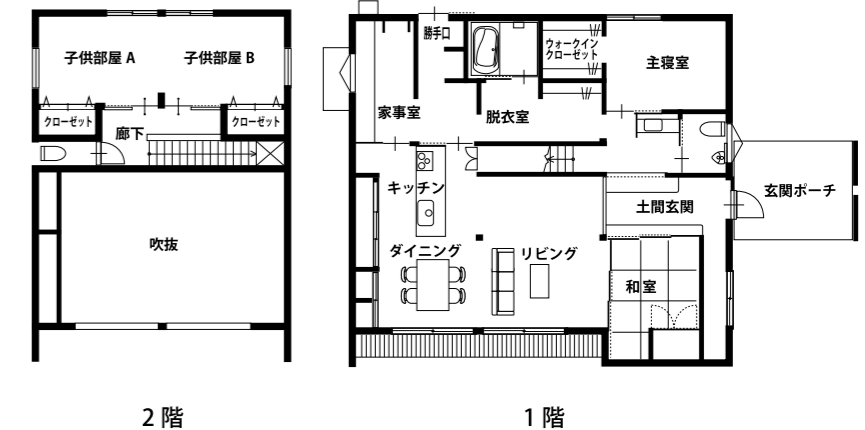


木格子越しに奥へと誘う玄関。洗い出しの土間と木の床が連なり人をやさしく招き入れる、穏やかな表情をつくり出します



通り土間が奥へと視線を導く玄関。こだわりのランダム障子と間接照明の光と陰影が、深みと安らぎが、空間全体に行き渡ります

| 募集条件への適合状況 | |
|--|---|
| がこしま木の家の基準 | |
| 「がこしま材の使用量が10m以上」かつ「がこしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」 | ○ |
| 認証がこしま材の家の基準 | |
| (1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上 | ■ |
| (2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023m/mを乗じて得た数値以上 | ■ |
| (3) 造作材、下地材及びフローリングの合計積が16m以上 | ■ |
| (4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証がこしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1 | ■ |



●家族構成／夫婦2人 子ども2人 規模／木造2階建て
 ●敷地面積／523.53㎡ 建築面積／129.96㎡ 延床面積／147.10㎡ 築2025年4月



リビングの一角に設けたオープンな造作本棚。読書にとどまらず、家族が自然と集い、会話が生まれる交流の場をつくり出しています

家族がいつでもどこでも「学べる家」

鹿児島市

設計／株式会社 建築工房 匠
 施工／株式会社 建築工房 匠
 棟梁／松山 裕太郎

周囲の視線を抑えつつ、光と風を取り込む工夫が随所に施されたH邸。住まいの中心に学習室を据え、LDKや水まわり、収納を回遊動線でつなぐことで、暮らしやすさと家族のつながりを両立しています。高低差を活かした配置や、木格子と緑を組み合わせたアプローチが、穏やかで落ち着いたのある佇まいを演出。快適な住環境と、居心地の良さをご家族皆さまが日々、実感されています。

株式会社 建築工房 匠
 設計／福迫 健

梁や柱を現しとした構造計画により、木材の持つ構造的な強さを活かしながら、空間に広がりや安定感をもたらしました。LDKは天井高約2,600mmを確保し、断熱・気密性能を高めることで、年間を通して温熱環境の安定した快適な室内空間を実現しています。



目隠しを兼ねた木格子が、視線を和らかく遮りながら空間に広がりをもたらします。プライバシーと意匠性を両立し、将来のバリアフリーにも配慮した設えです



1階はLDKを起点に、水まわりや収納、学習室へとつながる回遊動線に。家事も移動もスムーズで、自然と家族の気配が感じられる、一体感のある間取りです

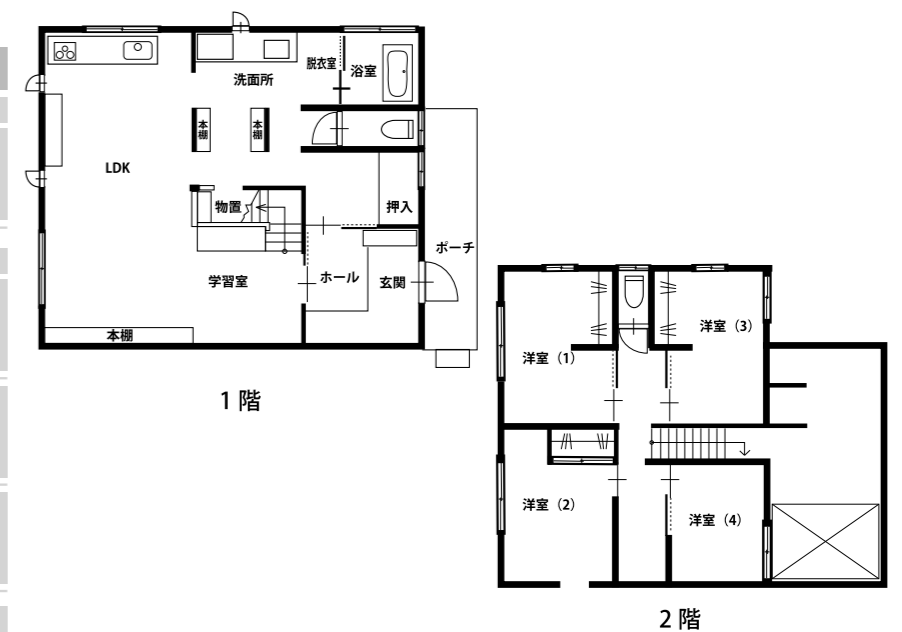


LDKや2階の個室へと向かう途中に学習室を配し、家族の気配が自然に交わる住まい。「学びの場」を中心に、日常のつながりが育まれる空間です



水まわりを集約したエリアには、書棚や可動棚を備えた収納スペースを計画。家事動線に寄り添い、日用品から書籍まで無駄なく機能的に収納できます

| 募集条件への適合状況 | |
|--|---|
| がこしま木の家の基準 | |
| 「がこしま材の使用量が10m以上」かつ「がこしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」 | ○ |
| 認証がこしま材の家の基準 | |
| (1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上 | ○ |
| (2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023m/mを乗じて得た数値以上 | ○ |
| (3) 造作材、下地材及びフローリングの合計積が16m以上 | ○ |
| (4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証がこしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1 | ○ |



●家族構成／夫婦2人 子ども2人 規模／木造2階建て
 ●敷地面積／192.44㎡ 建築面積／74.43㎡ 延床面積／112.61㎡ 築2023年8月

入選

自然を感じ家族とつながる家



南向きリビングは自然光をたっぷり取り込む明るい空間。壁は珪藻土、天井は桧と珪藻土で快適性を高めています

自然を感じ家族とつながる家

鹿屋市

設計／株式会社 新留建築設計事務所
 施工／株式会社 黒松製材建設
 棟梁／新久保 誠

ご夫婦ともに建築士である施主が、木の質感や表情を大切にしながら、落ち着いた佇まいを丁寧に形にした、建築士ならではの住まいです。「つながり」を意識したダイニングリビングはL字型に配置し、緩やかに区切りながらも互いの気配を感じられる空間に。暮らしの変化に寄り添う柔軟な間取りと、床の間や格子といった細かな設えが生む余白が、心地よさを高め、住まいに静かな奥行きを与えています。



株式会社 新留建築設計事務所
 設計／新留 洋平・新留 ゆり

パッシブデザインを軸に光と風がやわらかく巡る住まいとし、木の素材感を随所に活かしました。公私の領域を丁寧に分けながら床の間や余白を大切に、年を重ねても快適に暮らせる住環境を整えています。



深い軒と植栽（シンボルツリーのヒメシャラ）計画により日差しを制御し、夏は木陰をつくり冬は光を招く、季節に寄り添う住まいを構築しています



玄関ホールには床の間のようなおもてなしの空間を設え、季節の花々や子どもの作品を飾り、訪れる人を優しく迎えます

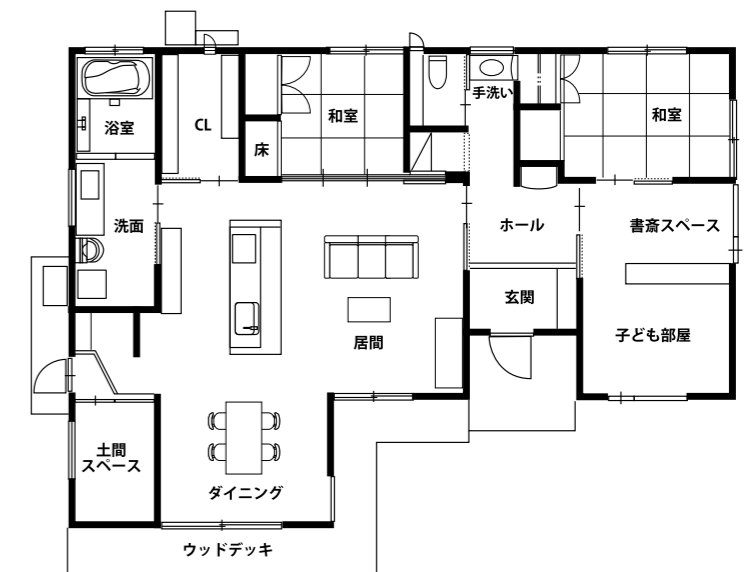


LDKは各室とつながる回遊性ある家事動線で効率化。ドア建具は掘込取手を色分けし、リズムと統一感ある心地よい空間に仕上げています



リビングと緩やかにつながる和室。床の間のスペースと朱壁が空間を引き締め、心にゆとりをもたらし、上質な寛ぎのひとつを演出します

| 募集条件への適合状況 | |
|--|---|
| がこしまの家の基準 | |
| 「がこしま材の使用量が10m以上」かつ「がこしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」 | ○ |
| 認証がこしま材の家の基準 | |
| (1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上 | ■ |
| (2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023m/mを乗じて得た数値以上 | ■ |
| (3) 造作材、下地材及びフローリングの合計積が16m以上 | ■ |
| (4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証がこしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1 | ■ |



●家族構成／夫婦2人 子ども1人 規模／平屋
 ●敷地面積／403.00㎡ 建築面積／121.05㎡ 延床面積／113.50㎡ 築2023年2月



ダイナミックな太鼓梁と白壁のコントラストが映える LDK。無骨さの中にインテリアで可愛らしさを添え、表情豊かな空間に。リビング奥には家族のプライベートスペースを配し、公と私を分けた過ごしやすい住まいです

伝統を継ぎ、今に住まう力強い「太鼓梁」が映える家

南さつま市

設計／株式会社 畠中設計
施工／赤瀬川建設 株式会社
棟梁／鳥越 智仁

地元産の地杉を贅沢に用い、大工職人である施主様の確かな技と美意識が随所に息づく平屋住宅。リビングに大胆に架かる重厚な「太鼓梁」は、開放感を生み出し、空間の主役として圧倒的な存在感を放っています。木の力強さと重厚感を感じさせながら、光と風を巧みに取り込み、伸びやかで心地よい暮らしを実現。伝統を受け継ぎつつ、現代の住まいに応える渾身の一棟です。



株式会社 畠中設計
設計／内 竜一

大工職人である施主様の確かな技と感性が随所に息づく住まいです。設計者として、居住性と快適性を第一に、細部まで丁寧に対話を重ねながら設計・施工しました。



三つの頂が寄り添い生まれた隅屋根が特徴。設計士が細部まで追求した、品格ある佇まいです



玄関からシューズクローク、パントリー、キッチンへとつながる「ただいま動線」を採用。帰宅後の動きが自然で、家事もスムーズにこなせる設計です

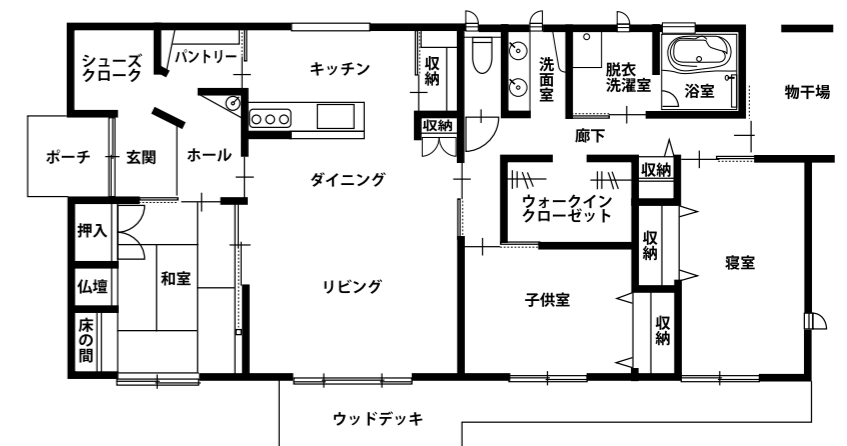


収納や造作棚、飾り棚、カウンターまで、使う人のサイズや用途に合わせて丁寧に設えたキッチン。細部に職人のこだわりが息づいています



一本約 500 kg の地元産無垢材を井形に四本組み上げた太鼓梁。住まいの主役として空間を支え、時折響く「パキッ」という音が木の生命力を語っています

| 募集条件への適合状況 | |
|--|---|
| がこしま木の家の基準 | |
| 「がこしま材の使用量が 10m 以上」かつ「がこしま材の使用量の割合が全体の 50% 以上かつ構造材の 50% 以上」 | ○ |
| 認証がこしま材の家の基準 | |
| (1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で 80% 以上 | ■ |
| (2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に 0.023m/m を乗じて得た数値以上 | ■ |
| (3) 造作材、下地材及びフローリングの合計積が 16m 以上 | ■ |
| (4) 上記 (1) (2) のいずれかにおける認証がこしま材の実使用比と (3) における同材の実使用比の数値の合計が 1 | ■ |



●家族構成／夫婦 2 人 子ども 1 人 規模／平屋
●敷地面積／561.69㎡ 建築面積／124.09㎡ 延床面積／117.24㎡ 築 2024 年 12 月

入選 木の温もりを感じる平屋



シンプルな切妻屋根を採用した外観。南面の屋根は、軒を大きく伸ばす事で夏の日差しを遮り、快適な室内環境を実現しています

木の温もりを感じる平屋

鹿児島市

設計／有限会社 イヤダニ工務店設計事務所
 施工／有限会社 イヤダニ工務店
 棟梁／栗須 貴浩

里山の静けさに包まれて佇む、ご夫婦二人暮らしのコンパクトな平屋住宅。南に開いたLDKにはやわらかな光と風が行き交い、深い軒の下では季節の移ろいをゆっくりと感じられます。無垢材の床や造作が、日々の暮らしに木の香りと温もりを添え、時を重ね深まる表情も魅力です。高い断熱性能と自然を活かした設計が、将来を見据えた安心と心地よさを静かに支えています。



有限会社 イヤダニ工務店設計事務所
 設計／巖谷 圭太

光と風をやさしく取り込むパッシブデザインをベースに、木の素材感が映える空間を描いています。ご家族の想いやご希望にじっくり向き合い、ご家族のスタイルに合わせた、居心地のよい暮らしをご提案します。



化粧仕上げの柱や梁は杉材を使い、木のぬくもり溢れるナチュラルな雰囲気のあるLDKは、光と風が自由に巡るワンルーム空間



自然の風合いをいかした洗い出し仕上げの玄関土間は、木の家とも相性抜群。シューズクロークの杉棚板は可動棚にすることで、効果的に収納できます

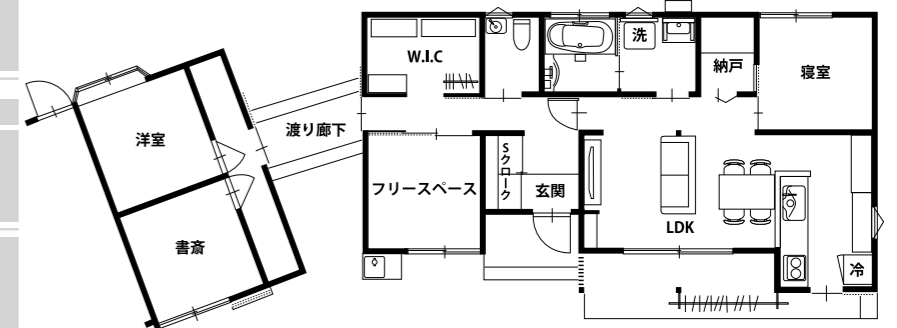


既存の別棟書斎への渡り廊下。構造材現しにすることで、木の素材感や力強さをダイレクトに感じさせる



白壁をベースに、要所に木の質感を添えることで、洗練と温もりを併せ持つ落ち着いた空間をつくり上げています

| 募集条件への適合状況 | |
|--|---|
| がこしま木の家の基準 | |
| 「がこしま材の使用量が10m以上」かつ「がこしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」 | ○ |
| 認証がこしま材の家の基準 | |
| (1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上 | |
| (2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023m/mを乗じて得た数値以上 | |
| (3) 造作材、下地材及びフローリングの合計積が16m以上 | |
| (4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証がこしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1 | |



●家族構成／夫婦2人 規模／平屋
 ●敷地面積／1064.85㎡ 建築面積／70.80㎡ 延床面積／64.59㎡ 築2023年8月